

2019年 12月 19日

研究に関するお知らせ

研究課題名：遺伝子検査余剰検体の医科研バンキング事業

主任研究責任者：古川洋一

所属：医科研臨床ゲノム腫瘍学分野

研究事業の目的：白血病や固形がんなど様々な腫瘍性疾患に対する新たな診断・治療法の開発を迅速かつ効率的に行うことができるよう、遺伝子検査で余った余剰検体を医科研の臨床検体バンクに保管し、将来、医科研で実施される研究に提供します。

研究事業の方法：診療のための遺伝子検査のために採取された血液や骨髄液、生検や手術切除組織などの試料から抽出されたDNAやRNAなどのうち、検査で残った余剰検体を、匿名化した上で医科学研究所の倫理審査委員会等で承認された研究の為に用います。研究内容や研究方法はそれぞれ個別に申請・承認された研究によって異なります。またこれらの研究の際には、診療カルテから得られる病気の特性に関わる情報（腫瘍の病理組織像や検査の結果、治療経過など）も同様に匿名化した上で併せて解析する可能性があります。

使用させていただく試料：

- 研究計画「遺伝子検査余剰検体の医科研バンキング事業」への参加に同意され、当院で診療の為に遺伝子検査の際、採取された血液や骨髄液、生検や手術切除組織などの試料から抽出されたDNAやRNAなどのうち、検査で残った余剰検体
- 2015年～2019年に「遺伝子検査余剰検体のバンク化事業」の研究参加に同意された患者さんの遺伝子検査余剰検体
- 1996年～2014年に採取された過去の遺伝子検査の際に残され保存されている余剰検体。

研究期間：2019年12月19日（所長・病院長許可日）～2024年12月31日まで

お問い合わせ先：

くわしい情報が必要な患者様、1996年以後に受診された患者様で、余剰検体の利用にご協力いただけない患者様は、下記（お問い合わせ窓口）にご連絡ください。

（お問い合わせ窓口）

〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1

臨床ゲノム腫瘍学分野 教授 古川 洋一 電話：03-6409-2100